

Project

プロジェクト

6月号

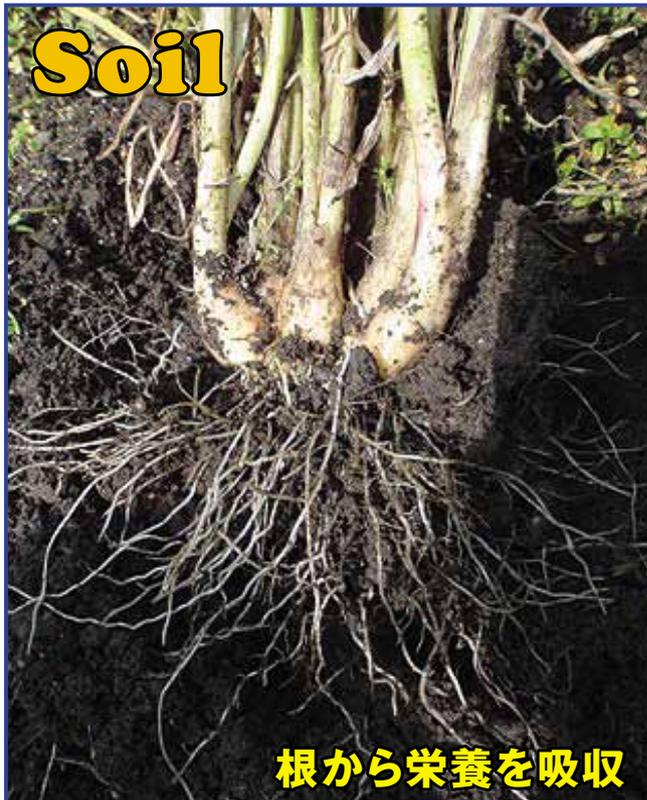
放射線タウン情報

2017.6.1発行 No.15

【編集発行】

南相馬市健康づくり課

☎0244-24-5381



現在、放射性セシウムは、地面から5cmまでの深さにほとんどが留まっています。

原発事故直後、土壌から植物に放射性セシウムが移ることが心配されましたが、国などの研究結果から、月日が経つにつれて植物に移らないことが分かってきました。その理由として、土の中の粘土とセシウムの性質が大きく関係しています。

砂・粘土・土の違い

砂や粘土は学術上、粒子の大きさによって分類されます。

砂は0.075mm～2mmの粒子、粘土はそれよりずっと小さく0.005mm以下の粒子に分類されています。粘土は水を含むと粘り気を持ち、加工に適していることから、昔から焼き物に利用されてきました。その反面、粘土質の土壌は、建物を建てる際の地盤としては、軟弱なため敬遠されています。

土は、これらの粒子に堆肥などの有機物が混ざり合ったものの総称です。

ガツチリ!!セシウムを
固定する粘土

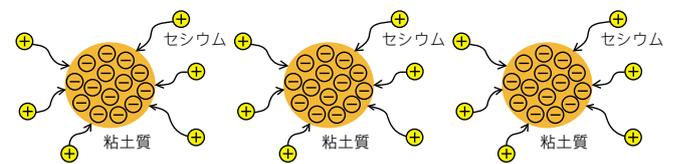
壤



粘土質に結びつく 放射性セシウム

電氣的に引き付け合う

セシウムは、電氣的にプラスの電荷を帯びています。反対に粘土質はマイナスの電荷を帯びています。プラスの電荷とマイナスの電荷は、互いに引き付け合う性質があるため、セシウムは粘土質に引き寄せられます。



小さなすきまに ぴったり入る

粘土質を拡大してみると、薄い層が何層にも重なった構造をしています。この各層には、細かな「すき間」が無数にあり、このすき間の大きさがセシウムの大きさとほぼ同じことから、一旦、このすき間に入ると出られなくなります。

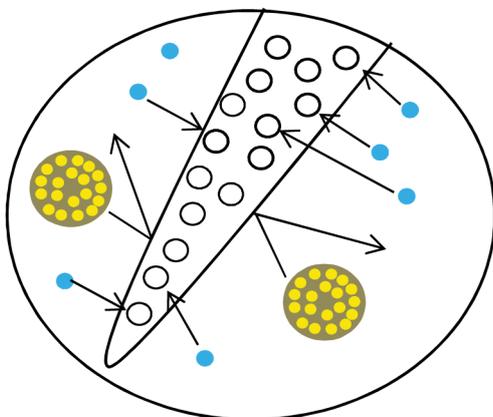
現在、土壌中のセシウムはほとんどが粘土質に固定されており、水に溶けるセシウムは、ほとんどありません。



根から吸収されません

植物は、根から土壌の水分や栄養分を吸収して成長します。

植物の根を拡大してみると、小さな穴が無数にあります。この穴から水分と栄養分を吸っていますが、粘土質は、この穴より大きいいため、根から吸収されません。



根の拡大図

● 水 ● セシウムを固定した粘土質

(参照) 日本土壌肥料学会「原発事故・津波関連情報」



畑の野菜、基準値超過ほとんどなし

市では、平成24年3月から自宅の畑で作った野菜や、山で採ってきた山菜・きのこなど、家庭で消費する食品(自家消費食品)の放射性物質測定を行っています。

平成28年度の測定結果を見ると、畑で育てた野菜で、基準値を超える割合は0.3%でした。一方、山菜等では20.4%、きのこでは86.1%と依然として高い割合が続いています。

※野菜などの放射性物質の基準値:100Bq/kg

山菜・きのこは要測定

市では、鹿島区・原町区の各生涯学習センターと小高区役所で、自家消費食品の測定を実施していますので、山で採ってきた山菜・きのこは、必ず測って基準値未満であることを確認してから食べるようにしてください。

現在、測定に用いている機械は、食品を刻まずにそのまま測れる「非破壊式測定器」です。是非、ご利用ください。また、次の会場では土・日も測定しています。



食品をそのまま測れる非破壊式測定器

土日の測定日	会場
第1土曜日	原町生涯学習センター
第2日曜日	ひばり生涯学習センター
第3土曜日	鹿島生涯学習センター
第4日曜日	小高区役所

※事前に施設にお電話いただきますとスムーズに測定ができます。

※受付時間は、8:30~17:15になります。

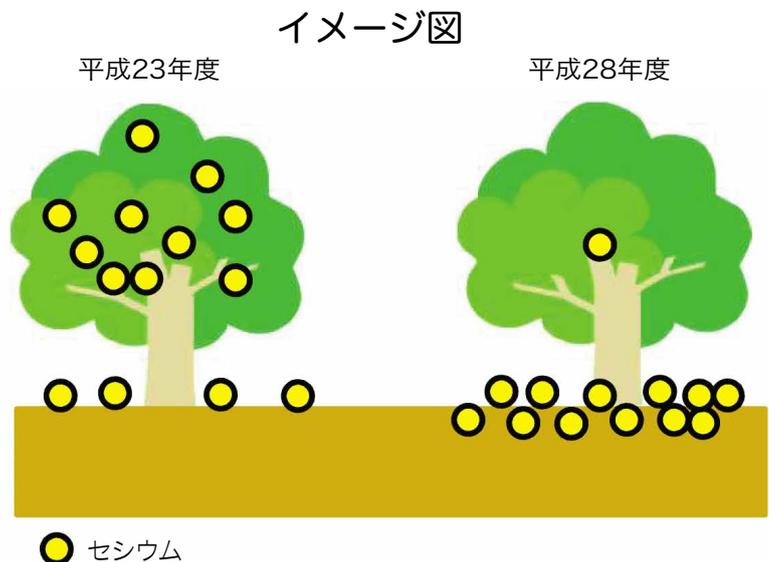
【問合せ先】

生活環境課 ☎0244-24-5240

森林のセシウムは今どこに？

林野庁では、平成23年度から福島県内の森林のどの部分に放射性セシウムが多く分布しているかを調査しています。

平成23年度は、葉・枝にもセシウムが付着していましたが、平成28年度の調査では、ほとんどが落葉層や土壌に付着していることが分かりました。



今年度も内部被ばく検診受付中

市では、ホールボディカウンターを用いた内部被ばく検診を実施しています。費用は無料ですので、ご自身の健康管理のためにも、受診ください。特に受診されたことのない方は、是非お申し込みください。

未就学児は、ベビースキャンを用いた内部被ばく検診を受けることができます。

加えて、平成29年4月から対象範囲を拡大し、次の方も対象となりました。

①市外から市内の事業所に通勤している方

②市外から市内に避難している方

ご希望の方は、健康づくり課までご連絡ください。



【問合せ先】

健康づくり課 ☎0244-24-5381

放射線健康相談員 戸別訪問実施中

市では、放射線に関する不安や疑問にお応えするため、「放射線健康相談員」を配置し、相談活動を実施しています。

これまで、市内の仮設住宅・借上げ住宅に避難されている方、市外に避難されている方に戸別訪問・電話相談を実施していましたが、平成29年5月から、市内の自宅に戻られた方への戸別訪問を行っています。

訪問する前に予約の電話連絡をしております。市の相談員から電話があった際は、趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。



【相談窓口】市役所東庁舎1階西側

【専用ダイヤル】☎0244-24-5415

【受付時間】9:00~17:00

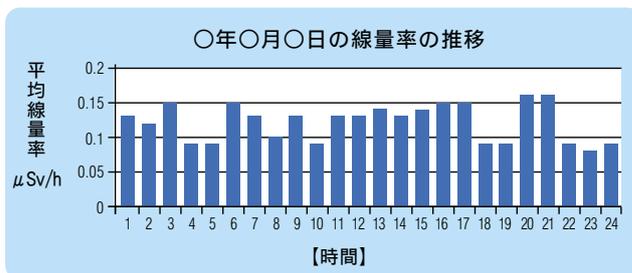
皆さまからいただいたご意見は、今後の市政に反映していきたいと考えております。

Dシャトル貸出し中

D(ディー)シャトルは、1時間単位で放射線量を測定できる小型の線量計です。1日の中でどこに居た時が一番高く、どこが一番低いか把握することができます。

一緒にお渡しする記録票に記録しておくことで、どこに居た時に多く被ばくしているのかを確認できます。

【測定期間】2週間程度



過去24時間の線量の状況が1時間単位で確認できます。

【申込み・問合せ】

健康づくり課 ☎0244-24-5381

放射線タウン情報(プロジェクト)は、より一層、内容を充実したものにするために、平成29年度から隔月(偶数月)発行となりました。